

# 中國文學研究

第四十四期

2018年12月

- 
- 白居易七言律詩考……………埋田 重夫 (1)  
—— 詩人と詩型 ——
- 白居易の詩における〈自稱〉表現……………高橋 良行 (21)  
—— 官職・身體・年齢・詩酒に即して ——
- 四庫全書所収『高氏三宴詩集』の資料的性格……………土佐 朋子 (43)
- 北宋書論における美醜意識について……………大森 信徳 (60)
- 神仙的世界觀を通して讀まれた志怪……………伊藤 令子 (80)  
—— 六朝志怪「劉晨阮肇」故事を一例として ——
- 「裁き」と神々の接點……………辻 リン (99)  
—— 『賢良寶卷』の變容に見る寶卷の變遷 ——
- 森槐南の戯曲二種における彼の戯曲觀について…中村 優花 (115)
- 中國口語語彙層の二層化……………鱒澤 彰夫 (133)
- 
- 自訂略年譜・論著目録……………古屋 昭弘 [116]
- 『滿漢西廂記』版本二種の漢文部分の相違について  
……………荒木 典子 [105]
- 『海篇集韻大全』の「經史切韻音義」の音注について  
……………高山 亮太 [82]
- 「少」の上古音再考—義通換讀から見た上古音再構  
……………野原 將揮 [66]
- J.A. イングル『漢音集字』(1899)と近代漢口方言  
……………千葉 謙悟 [45]
- 北部吳方言の広用式変調とアクセント特性……………平田眞一郎 [15]
- 吳語の「蚊」音について……………秋谷 裕幸 [1]
- 

早稻田大學中國文學會